

# 観光交流人口 150 万人に向けた施策展開

2012年10月01日

廣瀬 榮 政策懇話会

# I. 産業連関表の活用（数値的な裏づけ）

## 養父市観光消費額の経済波及効果の試算について

観光客が支出する交通費、宿泊費、土産品費、飲食費、その他の費用の合計額を観光消費額としてとらえ、平成19年度の養父市への観光客入込客（資料：兵庫県「兵庫県観光客動態調査報告書」、（社）日本観光協会発行「観光の実態と志向」）の消費額から経済波及効果を試算した。

### A 観光交流人口100万人における試算

#### 1. 市内観光消費額

平成19年度の養父市内観光客入込客数（入込み客：102万6千人、宿泊客：22万1千人）をもとに推計した市内観光消費額は69億円（養父市GDP比8.2%）である。

#### 2. 生産誘発効果

平成19年度の市内観光消費額（直接効果）69億円による市内経済波及効果（生産誘発額）の合計は104億円となった。これは市内観光消費額の1.50倍にあたる。

#### 養父市内観光消費の経済波及効果(試算値)

(単位:億円、%)

項目	生産誘発額	付加価値誘発額	H19GDP比率	就業者誘発数	H19就業者比率	雇用誘発数
直接効果	69	39	4.7	870	6.4	560
間接効果	35	20	2.4	264	2.0	182
合計	104	59	7.1	1,134	8.4	742
養父市内総生産	1.50	839	100.0	13,509	100.0	

(資料)兵庫県「H19年度市町民経済計算」、「H17年兵庫県産業連関表」、「H19年度兵庫県観光動態調査報告書」

#### 3. 付加価値誘発効果

養父市内観光消費による生産波及から生じた付加価値誘発額の合計は59億円である。この付加価値誘発額は、平成19年度の養父市内総生産（養父市内付加価値額の合計）839億円の7.0%にあたる。

#### 4. 雇用創出効果

養父市内観光消費によって直接的に雇用される就業者数は870人であり、生産波及から創出される就業者数は間接効果では264人、合計は1,113人である。これは養父市内就業者総数13,509人の8.2%にあたる。

#### (参考)

##### (1) 生産誘発額（1次間接）

宿泊、交通、土産及び飲食等の財（原材料）やサービスを提供する部門（宿泊業、飲食店等）への波及効果

##### (2) 生産誘発額（2次間接）

付加価値誘発額(直接効果及び1次間接効果)のうち雇用者所得から消費を通じた波及効果

##### (3) 付加価値誘発額（直接）

市内観光消費により新たに生み出される付加価値額(雇用者の賃金や企業の営業利益等)

##### (4) 付加価値誘発額（1次間接）

財（原材料）やサービスを提供する部門（宿泊業、飲食店等）により新たに生み出される付加価値額

##### (5) 付加価値誘発額（2次間接）

付加価値誘発額（直接効果及び1次間接効果）のうち雇用者所得から消費を通じて新たに

## 5. 生み出される付加価値額

### 事例2 観光消費による経済波及効果

県内にイベントが開催された場合のイベント参加者の経済波及効果

①宿泊費	1人当たり平均宿泊額×宿泊者数
②交通費	1人当たり平均交通費×参加者(宿泊者・日帰り者)
③土産代	1人当たり平均土産代×参加者(宿泊者・日帰り者、総額を部門別に配分)
④飲食・レジャー費等	1人当たり平均その他費用×参加者(宿泊者・日帰り者)

#### 1. イベント参加者

データ入力欄	平均宿泊日数
宿泊者・日帰り者数(人)	平均訪問回数
宿泊者	1.60
日帰り者	1.35
合計	

#### 2. 1人当たり平均消費額

データ入力欄	データ入力欄
1人当たり平均消費額(円)	
合計	37,910 7,800
宿泊費	9,880 0
交通費	10,180 2,440
土産代	5,410 2,200
その他費用	7,770 3,160

#### (参考) 1人当たり旅行費用

	H17年度	
	宿泊	日帰り
総額	37,910	7,800
宿泊費	13,850	
交通費	10,180	2,440
土産代	5,410	
その他費用	7,770	

ホテル	10,988
旅館	13,267
民宿・ペンション	8,910
公的宿泊施設	10,851
<b>合計</b>	<b>9,880.5</b>

(資料) (社) 日本観光協会「観光の実態と動向」

※宿泊費用の内訳は、個人観光だけの数値(団体旅行除く)のため、総額と一致していません

#### 3. 消費額合計

訪問者消費額(百万円)			観光消費 億円
宿泊者	日帰り者	合計	
合計	4,591	4,651	9,242
宿泊費	1,365	0	1,365
交通費	1,406	1,455	2,861
土産代	747	1,312	2,059
その他費用	1,073	1,884	2,957

#### 4. 土産代の部門別配分

データ入力欄	土産の部門別構成比(%)	対応ICコード
小計	100.0	
a-1 生鮮農産物	50.0	01 農業
a-2 菓子類等	50.0	05 飲食料品
a-3 衣料品	0.0	06 繊維製品
a-4 玩具等	0.0	20 その他の製造工業製品

#### 5. 観光消費による需要増加額

	最終需要額		最終需要額		対応ICコード
	購入者価格	商業マージン率 貨物マージン率	生産者価格		
1 宿泊費	1,365		1,365	34	対個人サービス
2 交通費	2,861		2,861	27	運輸
3 その他費用	2,957		2,957	34	対個人サービス
4 土産費	2,059				
生鮮農産物	1,030	0.2137	0.0456	763	01 農業
菓子類等	1,030	0.3113	0.0345	674	05 飲食料品
衣料品	0	0.4012	0.0251	0	06 繊維製品
玩具等	0	0.2228	0.0345	0	20 その他の製造工業製品
商業マージン				541	24 商業
運輸マージン				82	27 運輸
合計	9,242			9,242	

## B 観光交流人口 150 万人に向けて

### 1. 市内観光消費額

養父市内観光客入込客数（入込み客：150 万人、宿泊客：32 万 3 千人）をもとに推計した市内観光消費額は 151 億円（養父市 GDP 比 18.0%）である。

### 2. 生産誘発効果

市内観光消費額（直接効果）101 億円による市内経済波及効果（生産誘発額）の合計は 151 億円となった。これは市内観光消費額の 1.50 倍にあたる。

#### 養父市内観光消費の経済波及効果(試算値)

(単位:億円、%)

項目	生産誘発額	付加価値誘発額	H19GDP比率	就業者誘発数	H19就業者比率	雇用誘発数
直接効果	101	57	6.8	1,271	9.4	817
間接効果	50	30	3.6	387	2.9	268
合計	151	87	10.4	1,658	12.3	1,085
養父市内総生産	150	839	100.0	13,509	100.0	

(資料)兵庫県「H19年度市町民経済計算」、「H17年兵庫県産業連関表」、「H19年度兵庫県観光動態調査報告書」

### 3. 付加価値誘発効果

養父市内観光消費による生産波及から生じた付加価値誘発額の合計は 87 億円である。この付加価値誘発額は、平成 19 年度の養父市内総生産（養父市内付加価値額の合計）839 億円の 10.4%にあたる。

### 4. 雇用創出効果

養父市内観光消費によって直接的に雇用される就業者数は 1,271 人であり、生産波及から創出される就業者数は間接効果では 387 人、合計は 1,658 人である。これは養父市内就業者総数 13,509 人の 12.3%にあたる。

## 5. 生み出される付加価値額

### 事例2 観光消費による経済波及効果

県内にイベントが開催された場合のイベント参加者の経済波及効果

①宿泊費	1人当たり平均宿泊額×宿泊者数
②交通費	1人当たり平均交通費×参加者(宿泊者、日帰り者)
③土産代	1人当たり平均土産代×参加者(宿泊者・日帰り者、総額を部門別に配分)
④飲食・レジャー費等	1人当たり平均その他費用×参加者(宿泊者・日帰り者)

#### 1. イベント参加者

データ入力欄	データ入力欄
宿泊者・日帰り者数(人)	平均宿泊日数
宿泊者 201,875	1.60
日帰り者 871,852	1.35
合計 1,073,727	

#### 2. 1人当たり平均消費額

データ入力欄	データ入力欄
平均訪問回数	1人当たり平均消費額(円)
合計 37,910	宿泊 7,800
宿泊費 9,880	日帰り 0
交通費 10,180	2,440
土産代 5,410	2,200
その他費用 7,770	3,160

#### (参考) 1人当たり旅行費用

	H17年度	
	宿泊	日帰り
総額	37,910	7,800
宿泊費	13,850	
交通費	10,180	2,440
土産代	5,410	
その他費用	7,770	

ホテル	10,988
旅館	13,267
民宿・ベ	8,910
公的宿	10,851
	9,880.5

(資料) (社) 日本観光協会「観光の実態と動向」

※宿泊費用の内訳は、個人観光だけの数値(団体旅行除く)のため、総額と一致していません

#### 3. 消費額合計

訪問者消費額(百万円)				観光消費	億円
宿泊者	日帰り者	合計	合計		
6,710	6,800	13,511	13,511	135.1	
1,995	0	1,995	1,995	67.1	
2,055	2,127	4,182	4,182	68.0	
1,092	1,918	3,010	3,010		
1,569	2,755	4,324	4,324		

#### 4. 土産代の部門別配分

データ入力欄	土産代の部門別構成比(%)		対応ICコード
小計	100.0		
a-1 生鮮農産物	50.0	01	農業
a-2 菓子類等	50.0	05	飲食料品
a-3 衣料品	0.0	06	繊維製品
a-4 玩具等	0.0	20	その他の製造工業製品

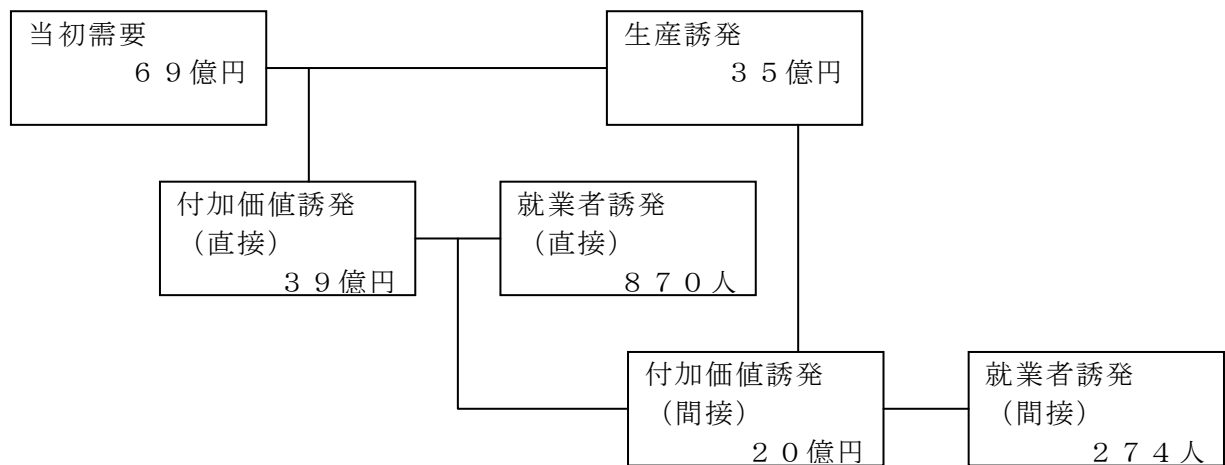
#### 5. 観光消費による需要増加額

	(単位: 百万円)					
	最終需要額 購入者価格	商業マージン率	貨物マージン率	最終需要額 生産者価格		
1 宿泊費	1,995			1,995	34	対個人サービス
2 交通費	4,182			4,182	27	運輸
3 その他費用	4,324			4,324	34	対個人サービス
4 土産費	3,010					
生鮮農産物	1,505	0.2137	0.0456	1,115	01	農業
菓子類等	1,505	0.3113	0.0345	985	05	飲食料品
衣料品	0	0.4012	0.0251	0	06	繊維製品
玩具等	0	0.2228	0.0345	0	20	その他の製造工業製品
商業マージン				790	24	商業
運輸マージン				121	27	運輸
合計	13,511			13,511		

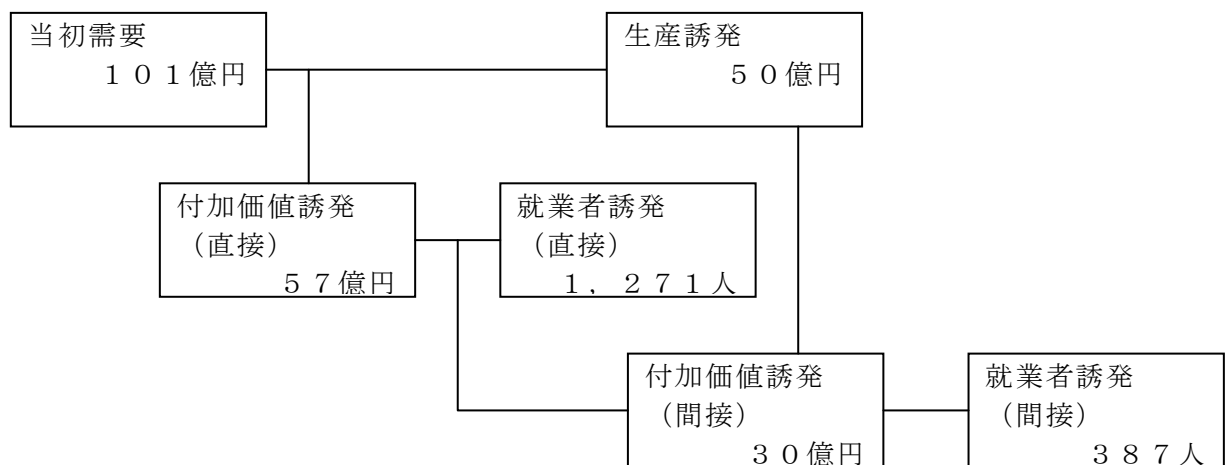
### C 養父市観光産業経済効果の試算

観光による兵庫県内の経済波及効果（兵庫県企画県民部政策室統計課）にもとづいてフローチャートを作成

<養父市観光産業経済効果のフローチャート>平成 19 年（2007 年）統計データによる



<養父市観光産業経済効果のフローチャート>観光交流人口 150 万人に向けて



## D GDP・雇用効果

### ① GDP

付加価値誘発額の差は 87億円 - 59億円 = 28億円  
GDPは839億円（H19）基準に対して 867億円に増加する。

$$28 \text{ 億円} \div 839 \text{ 億円} \times 100 = \underline{3.3\% \text{ の増加}}$$

一人当たりのGDPは 人口 26,501人（H22年度国勢調査）とすれば

$$867 \text{ 億円} \div 26,501 \text{ 人} = 327 \text{ 万円}$$

一人当たりのGDP（名目）は 327万円 となる。

$$28 \text{ 億円} \div 26,501 \text{ 人} = 11 \text{ 万円}$$

一人当たりのGDP（名目）増加額は 11万円 となる。

### ② 雇用効果（就業者誘発）

$$1,658 \text{ 人} - 1,134 \text{ 人} = 524 \text{ 人}$$

524人の新たな雇用が発生する。

### 結果総括

① 一人当たりのGDP（名目）は 327万円 3.3%の増

増加額は 11万円

② 新規雇用 524人

## II. 観光入込み数の予測

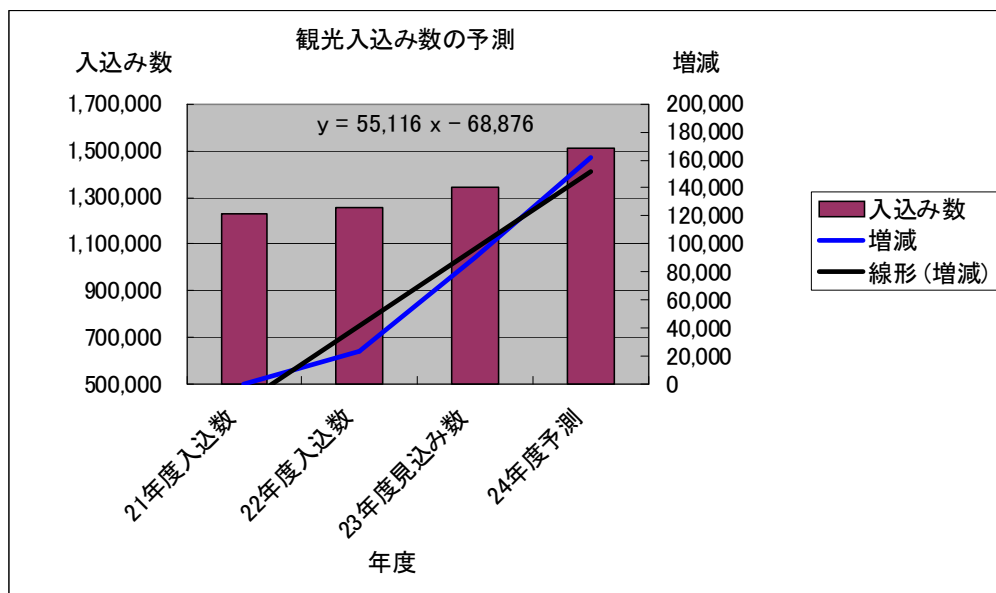
平成 21 年度～平成 23 年度の結果を元に、平成 24 年度の予測を行うと、150 万人を確保することは可能である。

(※平成 21 年度～23 年度のデータは 養父市産業環境部)

年度	21年度入込数	22年度入込数	23年度見込み数	24年度予測
入込み数	1,231,164	1,254,856	1,345,370	1,506,814
増減	0	23,692	90,514	161,444

年度	21年度比	22年度比	23年度比
増減	23,692	90,514	161,444



※ 増加数の近似式は  $Y=55,116X - 68,876$  と推計される。



### Ⅲ. 今後の施策展開

平成 21 年度～平成 23 年度の結果を元に外挿すれば、平成 24 年度末におい観光交流人口 150 万人を達成する見込みであるが、さらに実効性を確かなものにするため、市内施設ごとの具体的集客対策を各施設・関係機関と蜜に連携し、「北近周辺開発構想」「養父市経済活性化戦略（仮称）」との一体化・整合性を図りながら部局横断的に施策展開する必要が有ると考える。

参考：（観光交流人口 150 万人に向けて具体的に実施された施策・計画・事業）

- 養父市観光協会観光案内所開設
- 北近畿豊岡自動車道周辺開発構想
- おおやアート村「BIG LABO」
- はさまじ里山の森公園地区都市再生整備計画
- 朝倉山椒生産部会発足
- やぶらぶウォーカー開設ウイザスナビ開校（旧大谷小学校）
- やぶらぶ東京設立
- 養父市観光大使委嘱
- 養父市名誉市民
- 構造改革特別区域計画 養父市どぶろく村特区
- 地域再生計画 がんばる養父市企業誘致プロジェクト
- 養父市頑張る地方応援プログラム（企業誘致）